

PRESS RELEASE

2018年6月13日

関係各位

井関農機株式会社

新商品の発表について

下記11品目22型式の新商品を発表いたしますので、ご連絡いたします。

記

国内向け			発売月
トラクタ	T.Japan	TJV655~985	4型式 2018年 7月 ※
	T.Japan	TJW1153・1233	2型式 2018年11月
田植機	さなえ	RPQ40D・40DG・50DG	3型式 2018年 6月
	さなえ	NP60D-Z	1型式 2018年12月
	さなえ	NP70DS・80DS	2型式 2018年12月
コンバイン	フロンティアファイター	HX463・575	2型式 2018年 6月
	ジャパン	HJ5101・6115	2型式 2018年 7月
	ジャパン	HJ6130・7130	2型式 2018年12月
野菜移植機	ナウエルエース	PVZ1-60ADR	1型式 2018年10月
たまねぎ収穫機		VHU20-WG	1型式 2018年 6月
たまねぎピッカー		VHP101T・101T-LC	2型式 2018年 6月
システム	ISEKIリモート		2018年 7月

※TJV885C・985Cは2018年9月発売。
TJV655・755は2018年10月発売。

プレスリリース内に表記されている記号について
オンリーアイマーク … 井関農機株が特許出願中および特許として認められた機構を示すマーク



以上

PRESS RELEASE

担い手向け大型トラクタ 新TJV登場。
高いパフォーマンスと充実のICT機能で
規模拡大する日本農業を応援！

キセキトラクタ TJV5シリーズ

当社はこのたび、「デザイン、パワー、居住性、操作性 全てに最高のパフォーマンスを」をコンセプトにモデルチェンジし、76馬力以上のクラスでは特殊自動車排出ガス4次規制に適合したTJV5シリーズを発売します。

1. 開発のねらい

TJVシリーズは2010年に登場し、2014年のモデルチェンジを経て進化し、好評をいただけてきました。

今回のモデルチェンジでは、従来機をベースとしながらもエクステリア、インテリア共に一新し、先進的なフォルムに仕上げ、高級感を高めました。また、特殊自動車排出ガス4次規制適合エンジンを搭載し、大規模農家が求める「高機能」「高能率」「高い作業適応性」にこたえるべく進化を遂げたT. J a p a n「TJV」5シリーズを投入します。

2. 発売型式

「T. J a p a n」 TJV655 (65馬力)、TJV755 (75馬力)
TJV885 (88馬力)、TJV985 (98馬力)

3. 主な特長

1) 新デザイン

力強さの中に、美しさを纏った存在感のあるエクステリアデザインに仕上げました。

LED式サイドビューライトとプロジェクタ式ヘッドランプを組み合わせたフロントマスクが放つ鋭い眼光は見るものを圧倒し、所有感を満たすデザインに仕上げました。

2) 特殊自動車排出ガス4次規制適合エンジン搭載

①DEUTZ社製エンジンの採用

世界各国で高い評価を得ているDEUTZ社製エンジンを採用しました。水冷4気筒、排気量3.6Lの「TCD3.6(TJV885・985)」はDOC(ディーゼル用酸化触媒)および尿素SCR(選択式触媒還元)システムを搭載しています。排気量2.9Lの「TCD2.9(TJV655・755・755L)」はDOCのみで特自排出ガス4次規制をクリアしました。共に低回転で高出力、粘り強さを発揮します。

②グリーンモード

スイッチを押すと、エンジン回転数はそのままエンジン馬力を20%カットするグリーンモード制御を装備。2種類のエンジンを搭載しているかのような使い心地で、軽負荷作業などで省エネ効果を発揮します。

③大容量オルタネータ

オルタネータは120Aと従来機より容量を約20%上げ、複数の作業機コントローラに対しても安定した電力を供給します。

3) 作業適合性を向上させた仕様と装備

①2種類のトランスミッション

定評がある前後進32段トランスミッション(755L・885・985)と、車速の見直しを行った、新設計の前後進24段トランスミッション(655・755)を採用しました。24段仕様でも最低速が0.2km/hとなり、トレンチャー作業などの低速作業にも対応できるため、作業適応性が向上しました。

②回転数制御によりスムーズなスタートフィーリング

リニアシフトレバーでの発進時には、回転数制御によりエンジン回転数や作業負荷、油温などに影響を受けないスムーズな変速を可能にしました。

③変速感度調整ダイヤル

変速の感度をダイヤルで任意に調整することでシーンに合わせて最適な変速が行えます。

④油圧揚力の向上

3.4t(755L、885、985)と2.9t(655・755)の油圧揚力を実現しましたので、大型作業機にも対応します。

⑤フックエンド式3点リンク(985・885・755L)

様々な作業機の着脱を簡単に行うことが可能です。

4) 快適な操作環境

①新キャビン

フレームから新規設計し、快適な作業視界とワンランク上の居住性が共存するオペレーション空間を提供します。

②多機能アームレスト

オペレータが自然な姿勢で基本操作できる多機能アームレストを装備。肘掛に腕を置いたまま、デフロックスイッチやアクセルメモリスイッチなど使用頻度の高いスイッチ類を操作できるので、長時間作業の疲労軽減に貢献します。

③ディレイ機能付き集中作業灯スイッチ

全灯（前方4灯×後方2灯）LED式作業灯を搭載。キーOFF後、作業灯を一定時間点灯させた後、自動消灯するディレイ機能付き集中作業灯スイッチを装備しました。夜間作業や車庫の中など暗闇の中でも安心してトラクタから離れることができます。

④カラー液晶メーターパネル採用

大型カラー液晶メーターパネルによりトラクタの状態をわかりやすく表示します。

⑤業界初、本革巻きステアリング採用

センターホーン付きの本革巻きステアリングにより、操作性が向上しました。また、チルト機構により運転者に合わせてステアリングホイールの角度を4段階に調整できます。

⑥その他快適装備

オートエアコン、グラマー社製サスペンションシート、音楽プレーヤー対応ラジオと快適装備満載で、長時間作業も快適に行うことができます。

5) 安全・安心装備

①片ブレーキ誤操作防止装置

公道走行時のブレーキ誤操作による転倒・逸脱事故を防ぎます。

②セキュリティ機能の充実

「前後進不可キー設定」により暗証コードで前後進操作をロックすることができます。さらに、キー付き燃料タンクキャップにより燃料の盗難やいたずら防止に寄与します。

6) 優れた湿田走破性のセミクローラ仕様（TJV985C、TJV885C）

芯金レスクローラの採用により、振動が少なく快適な乗り心地を実現しました。接地面積が広く湿田性能に優れ、強力なけん引力を発揮します。

7) 先端技術への取り組み

①ISEKIアグリサポートを標準装備

お手持ちのタブレット端末などを通して、作業管理や機械管理の情報を簡単に記録することができます。農業経営を強力にサポートします。

②ISEKIリモート装備型式の設定

ISEKIリモートはGPSアンテナおよび通信端末を搭載した農業機械から発信される稼働情報や位置情報を元に、お客様の大切な機械の安心を提供するシステムです。

例えば、設定範囲を超えた機械の稼働を検知した場合、事前に設定したメールアドレスへ盗難検知の通知を行います。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売時期

2018年 7月 (TJV885・TJV985 ホイル)

2018年 9月 (TJV885・TJV985 セミクローラ)

2018年 10月 (TJV655・TJV755)

6. 販売目標台数

年間450台

7. 希望小売価格 (消費税込)

TJV655	8,002,800円	～	8,586,000円
TJV775	8,402,400円	～	9,568,800円
TJV885	10,209,240円	～	11,570,040円
TJV985	10,587,240円	～	12,077,640円



TJV985ZLWX33R

2) 特殊自動車排出ガス4次規制適合エンジン搭載

①DEUTZ社製エンジンの採用

世界各国で高い評価を得ているDEUTZ社製エンジンを採用しました。水冷4気筒、排気量4.1Lの「TCD4.1」はDPF（ディーゼル微粒子捕集フィルター）と尿素SCR（選択式触媒還元）システムにより、特殊自動車排出ガス4次規制をクリアしました。

低回転で高出力、粘り強さを発揮します。

②グリーンモード

スイッチを押すと、エンジン回転数はそのままエンジン馬力を20%カットするグリーンモード制御を装備。2種類のエンジンを搭載しているかのような使い心地で、軽負荷作業などで省エネ効果を発揮します。

③大容量オルタネータ

オルタネータは200Aと従来機より容量を約25%上げ、複数の作業機コントローラに対しても安定した電力を供給します。

3) 作業適合性を向上させた仕様と装備

①前後進32段トランスミッション

新設計の前後進32段トランスミッションを採用しました。また、PTOは540回転と1000回転を標準装備しており。エコノミーPTO・グランドPTO・逆転PTOが型式によって選択可能です。水田から畑作・酪農まで幅広い作業ニーズに対応します。

回転数制御でよりスムーズなスタートフィーリング

リニアシフトレバーでの発進時には、回転数制御によりエンジン回転数や作業負荷、油温などに影響を受けないスムーズな発進を可能にしました。

③変速感度調整ダイヤル

変速の感度をダイヤルで任意に調整することでシーンに合わせて最適な変速が行えます。

④3点リンク油圧揚力の向上

最大油圧揚力を5.5tにアップしました。また、クラス最大級の83L/minのメインポンプを採用し、重量作業機や複合作業も余裕でこなします。

⑤外部油圧標準4連（P型）

2・3連目の外部油圧にチェック機能を織り込んでいます。

4) 快適な操作環境

①新キャビン

内装を一新し、すべてのレバーやスイッチ類の配置に気を配った、機能的なレイアウトになりました。

②多機能アームレスト

オペレータが自然な姿勢で基本操作できる多機能アームレストを装備。肘掛に腕を置いたまま、デフロックスイッチやアクセルメモリスイッチなど使用頻度の高いスイッチ類を操作できるので、長時間作業の疲労軽減に貢献します。

③ディレイ機能付き集中作業灯スイッチ

全灯（前方6灯×後方4灯）LED式作業灯を搭載。キーOFF後、作業灯を一定時間点灯した後、自動消灯するディレイ機能付き集中作業灯スイッチを装備しました。夜間作業や車庫の中など暗闇の中でも安心してトラクタから離れることができます。

④サブモニターIMLT（ISEKI Machine Link Terminal）搭載
フルカラーの7インチタッチパネル式大画面で本機の状態を一目で確認できます。また、本機の細かい制御調整ができますので、効率の良い作業が行えます。ISOBUS対応型式（C型）では、ISOBUS対応の作業機の調節・設定も行えます。

⑤カラー液晶メーターパネル採用

大型カラー液晶メーターパネルによりトラクタの状態をわかりやすく表示します。

⑥その他快適装備

オートエアコン、グラマー社製サスペンションシート、音楽プレーヤー対応ラジオと快適装備満載で、長時間作業も快適に行うことができます。

5) 安全・安心装備

①片ブレーキ誤操作防止装置

公道走行時のブレーキ誤操作による転倒・逸脱事故を防ぎます。

②セキュリティ機能の充実

「前後進不可設定キー設定」により暗証コードで前後進操作をロックすることができます。さらに、キー付き燃料タンクキャップにより燃料の盗難やいたずら防止に寄与します。

6) ズームトレッド仕様（J型）

作物のうね間に応じて、フロント・リヤのトレッドを簡単に変更できるズームトレッド仕様を設定しました。

7) 先端技術への取り組み

①自動操舵レディおよびISOBUS対応型式（C型）

自動操舵用のオービットバルブと配線を本機に搭載した型式を用意しました。オプションのGPSガイダンスシステムと、専用アンテナにより自動操舵作業が可能です。また、ISOBUS作業機にも対応しており対応作業機のコネクタを装着するだけで、IMLTを作業機のコントロールパネルとして使用できます。（※アンテナ装着には、オプションのステーが必要です。）

②AGポート標準装備

日農工規格のAGポート（ISO11783準拠のデータ送信）コネクタを標準装備しています。適応作業機にトラクタの情報を提供できます。

③ISEKIアグリサポートを標準装備

お手持ちのタブレット端末などを通して、作業管理や機械管理の情報を簡単に記録することができ、農業経営を強力にサポートします。

④ ISEKI リモート装備型式 (Y型)

ISEKI リモートはGPSアンテナおよび通信端末を搭載した農業機械から発信される稼働情報や位置情報を元に、お客様の大切な機械の安心を提供するシステムです。例えば、設定範囲を超えた機械の稼働を検知した場合、事前に設定したメールアドレスへ盗難検知の通知を行います。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売時期

2018年11月

6. 販売目標台数

年間200台

7. 希望小売価格 (消費税込)

TJW1153 12,120,840円 ~ 13,087,440円

TJW1233 13,082,040円 ~ 14,777,640円



TJW1223XSCLP33B

PRESS RELEASE

中小規模層の兼業農家を応援する
「さなえ」RPQシリーズが新登場。

キセキ田植機 RPQシリーズ

当社はこのたび、ワイドステップやNEWさなえ苗レールにより居住性・作業性を向上しイメージを一新した「さなえ」RPQシリーズを新発売します。

1. 開発のねらい

農業構造の大規模化が急速に進む中、小型クラスの田植機の需要は減少傾向にありますが、依然として需要の約半数を占めており、2007年に投入したPQZシリーズは西日本を中心とした中山間地などの小型クラス市場において好評をいただいています。

今回、上位クラスの機能を踏襲した本格ロータリ式田植機として、モデルチェンジした新型「さなえ」RPQシリーズを投入します。

2. 発売型式

「さなえ」 RPQ40D・RPQ40DG（4条植）
RPQ50DG（5条植）

3. 主な特長

1) NEWデザインで作業性と風格アップ

新ボンネットの採用によりイメージを一新しました。また、ワイドステップと拡張サイドステップ（G型）によりフロアが広くなることで、オペレータの作業性が向上し、さらに見た目の風格が向上することにより、高級感を創出しています。

2) 居住性の向上

①幅広ワイドステップ

フロントステップの幅を広げることで、苗補給がスムーズに行えます。従来機と比べ、機体前方は133mm、後方は331mm幅広になっています。

②拡張サイドステップ（G型）

G型は拡張サイドステップを装備し、機体上での作業が快適に行えるようにしました。

③補助グリップ&ワイド補助ステップ

補助グリップを装備し、乗り降りしやすくなりました。また、補助ステップは滑り止めつきを採用し、従来機より幅を広げ、高さを23mm下げましたので、女性や高齢者でも使いやすくなりました。

④DXシート

座席シートのクッション性が向上し、長時間作業の負担を軽減します。

3) 快適らくらく作業

①NEWさなえ苗レール

苗枠を伸ばすとレール状になり、あぜからの苗補給が楽に行えます。また、レール状にした時に補助ローラが上昇する構成となっているので、軽い力で簡単に苗をスライドすることができます。

②あぜクラッチ自動復帰

あぜクラッチを切って植付けした場合、植終わりに植付け部を上昇させると植付けクラッチが自動で「入」になります。次の植付け時にレバーの戻し忘れによる欠株を防止します。

③大型文字サイズパネル

大型の文字パネルを採用しましたので、操作状況が一目で分かります。

④らくらくレバー操作

レバー操作荷重を軽減しており、女性や高齢者でも軽々操作できます。

4) 価値ある機能の踏襲

①疎植株間標準装備

標準で37株/坪(3.3m²)の疎植株間にも対応し、低コスト農業を応援します。

②さなえZロータ

枕地ならし不要の「さなえZロータ」を標準装備。キセキオリジナルの3分割ロータで、泥押し・波立ちを抑え、植付けながら枕地をならします。

③さなえZターン

ハンドル操作だけの自動旋回で、楽に簡単に旋回が行なえます。

④さなえハンドル&SSレバー

ほ場の出入りやトラックへの積み降ろしの時など、機体から降りて移動する際に、さなえハンドルを押さえることで軽い力で機体を押さえられます。また、機体から降りた状態でもSSレバーでブレーキが簡単にかけられるため、より安心して操作が行えます。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売時期

2018年 6月

6. 販売目標台数

年間1,500台

7. 希望小売価格（消費税込）

RPQ40D 1,355,400円 ~ 1,679,400円

RPQ40DG 1,436,400円 ~ 1,792,800円

RPQ50DG 1,603,800円 ~ 2,008,800円



RPQ40DGLF



RPQ50DGLF

PRESS RELEASE

直進アシストシステム搭載田植機に
担い手農家に向けたディーゼル6条仕様が新登場。

キセキ直進アシストシステム「Operesta (オペレスタ)」搭載

田植機 NP60D-Z

当社はこのたび、2017年12月に販売開始し、市場で好評をいただいている直進アシストシステム「Operesta (オペレスタ)」搭載田植機にディーゼル6条植仕様を追加投入し、ニッポンの田植えを新技術で応援します。

1. 開発のねらい

精密な操作を必要とする田植機での作業では、長時間の運転に起因するオペレータの疲労軽減が課題となっていました。また、新規就農者を従業員として雇用する農業経営体が増加する一方で、機械の操作に不慣れな従業員に対しての運転技術の習熟にかかる時間コストが、経営における大きな負担になっています。このような課題に対応するため、8条ディーゼル仕様の直進アシスト田植機を投入しております。

今回、担い手層に定評のある6条クラスへの搭載要望もあり、ディーゼル仕様の直進アシストシステム「Operesta (オペレスタ)」搭載「さなえ」NP60D-Zを新たに投入します。

2. 発売型式

「さなえ」 NP60D-Z (6条植 直進アシスト仕様)

3. 主な特長

1) 軽労化を実現する直進アシスト機能

GNSSとステアリングモータで構成される「直進アシスト機構」により、直進作業をアシストします。直進操作に気を遣う必要がないため、ストレスを感じることなく作業を行えます。また、運転技術の習熟度に左右されることがないため、機能の操作に不慣れな方でも簡単に真っすぐな植付けができます。水かさが多い場合など、マーカ跡の視認性が悪い条件でも直進性を保つため、便利です。

2) 直進作業をより簡単に

①直進アシストレバー

直進アシストの基準線の開始点「A点」と終了点「B点」の登録や、直進アシストの「入」・「切」操作はレバー1本でOK! ハンドルを握りながら操作できますので、旋回後も慌てることはありません。

②直進アシストモニタ

LEDの点灯・点滅により直進アシスト作業の状態が一目で確認できます。植付け作業時には前方から視線をそらさずに作動確認を行えます。また、条合わせの際、ランプの点滅により左右方向をお知らせし誘導しますので、安心して作業が行えます。

3) 安全・安心機能

①直進アシスト緊急解除機構（手動操作優先）

水路などの障害物をハンドル操作で回避する際、手動でハンドル操作をした場合は手動操作が優先されます。

②GNSSロスト時自動停車機構

衛星電波が遮られGNSS測位ができなくなった場合は、機体が自動で減速後停車します。

③あぜ接近時危険回避機構

あぜに対し約8m手前で、警告音でお知らせします。また、警告音でお知らせ後、4秒で機体が自動で減速し、停車します。

④ほ場逸脱防止機構

万が一、機体があぜに乗り上げた場合、前後左右8°以上傾くと自動的にエンジンが停止します。

4) 効率作業

エンジン再始動時、すぐに作業再開が可能です。作業開始時に一度GNSS測位をすれば、小休憩や苗補給時に一定時間（約2時間以内）エンジンを停止してもシステム情報を記憶しています。作業再開時はシステム再設定の時間が不要で、すぐに作業を始めることができます。

4. 主要諸元

添付チラシをご参照願います。

5. 発売時期

2018年12月

6. 販売目標台数

年間100台

7. 希望小売価格（消費税込）

NP60D-Z 3,304,800円 ～ 3,801,600円



NP60DZLF8 (直進アシストシステム オペレスタ搭載)

PRESS RELEASE

複数台所有する担い手農家の低価格ニーズに応えた
さなえNPシリーズにシンプルディーゼル仕様の
7条植・8条植を型式追加。

キセキ田植機 NP70DS・80DS

ご好評いただいている「さなえ」NP70（7条植）、80（8条植）にシンプル装備な低価格ディーゼル仕様を新たに投入します。

1. 開発のねらい

農業の大規模化が進む中、担い手向けの市場は「高機能モデル」に加え2台目、3台目として「低価格モデル」のニーズが高くなっています。

今回、「低価格モデル」への要望にお応えするため、基本性能について評価の高い「さなえ」NPシリーズを母体とし、装備をシンプル化した7条植・8条植のディーゼル仕様を新発売します。

2. 発売型式

「さなえ」 NP70DS（7条植）、NP80DS（8条植）

3. 主な特長

1) シンプル・低価格

油圧無段変速のメカ機構化など、装備のシンプル化により、希望小売価格を351千円（税込）低く設定しました。

2) 安定した基本性能

現行NPシリーズで好評いただいている整地性能・植付け性能を踏襲し、さらに、密播対応の苗タンク横送り28回ギア・疎植37株植を標準装備し、低コスト農業をサポートします。

4. 主要諸元

添付チラシをご参照願います。

5. 発売時期

2018年12月予定

6. 販売目標台数

年間200台

7. 希望小売価格（消費税込）

NP70DS 2,446,200円 ~ 3,024,000円

NP80DS 3,065,040円 ~ 3,723,840円



NP70DSL F

PRESS RELEASE

複数台所有する担い手農家のニーズに応えた
低価格の4条・5条コンバインを新発売。

キセキコンバイン HXシリーズ

当社はこのたび、低コスト農業を応援するシンプルな仕様で低価格を実現した、「HX」シリーズを新発売します。

1. 開発のねらい

近年、生産資材コストの低減が叫ばれている中で、農業機械の低価格化が求められております。今回、キセキコンバインの高い基本性能は維持したまま、シンプル・低価格をコンセプトに使いやすい自脱型コンバインの本格4条刈とコンパクト5条刈を、ニーズが高まる大型クラス市場にコンバイン「HX」シリーズとして新たに投入いたします。

2. 発売型式

「フロンティア ファイター」 HX463（4条刈 63.0馬力）
HX575（5条刈 74.8馬力）

3. 主な特長

1) 高能率・高精度作業を実現する基本性能

①逆流ツイン冷却ファン(HX463) /HST駆動逆転冷却ファン(HX575)

刈取作業中に一定間隔で逆風を起こすことで、ラジエータネットに付着したワラズなどを吹き飛ばします。高い冷却性能を発揮し、安定した連続作業を可能にします。

②3つの胴を持つ脱こく部に大径ロングこぎ胴を採用

大径ロングこぎ胴（HX463：径446mm×幅800mm、HX575：径462mm×幅1050mm）を搭載しましたので、しっかり脱こくをすることができます。また、ささり粒によるロスを低減する為に、こぎ胴の終端部にささり粒回収室を設けています。

③排出作業を楽に、早くする「オーガ右前方排出」

籾の排出可能範囲を本機右側前方に拡大しました。操作席から楽な姿勢で、オーガ先端を確認しながら排出ができます。また、オーガ回転時間が短縮しますので、高能率な排出作業が可能です。

④あらゆる条件に適応する車体水平制御

ほ場の傾斜をセンサで感知し、車体を常に水平に保ちますので、様々なほ場で高い適応性を発揮します。また、刈跡が均一になり、さらに脱こく精度も安定します。

2) 安全・安心機構

①エンジン始動設定

暗証コードを設定することで、メインスイッチ操作だけでは、エンジン始動できなくするエンジン始動設定機能を設けておりますので、盗難防止に効果を発揮します。

②手こぎ安全装置

手こぎ作業時、供給部のレバーを持ち上げると、フィードチェンが低速で駆動しますので、安心して作業が行えます。

③緊急エンジン停止スイッチ

スイッチを押すとエンジンが停止しますので、万が一の場合も安心です。HX463は手こぎ作業中には、フィードチェンが瞬時に停止し、こぎ胴カバーが半開放します。

HX575は、手こぎ作業中には、フィードチェンが瞬時に停止します。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売時期

2018年 6月

6. 販売目標台数

年間50台

7. 希望小売価格（消費税込）

HX463 8,208,000円

HX575 9,612,000円、10,692,000円



HX 463 GRLW



HX 575 GRLW

PRESS RELEASE

**自脱型最高峰コンバイン「ジャパン」
「高精度」「高能率」「高耐久」に
ICT機能を充実させ、
担い手農家向けに新登場。**

キセキコンバイン HJシリーズ

当社はこのたび、コンバインのフラッグシップモデルである、「ジャパン」HJシリーズのHJ5098・6098のモデルチェンジを行い、「高精度」「高能率」「高耐久」のコンセプトはそのままに、さらに使いやすくなったコンバイン“Ultra Japan (ウルトラジャパン)”HJシリーズを新発売します。

1. 開発のねらい

コンバイン「ジャパン」シリーズは大規模稲作農家、営農集団や農業法人の皆様にも、その名の通り日本を代表する高能率多条刈コンバインとして、多くご愛用いただいています。

その中で、2014年に投入したHJ5098・6098は軽量コンパクトなジャパンとして好評をいただけてきました。

今回、コンセプトを継承しつつ特殊自動車排出ガス4次規制へ対応すると共に馬力をアップし、条件適応性、耐久性の向上を図り、次世代の大規模農家の主力となる新HJシリーズを投入します。

2. 発売型式

「ジャパン」 HJ5101 (5条刈 101馬力)

HJ6115 (6条刈 115馬力)

3. 主な特長

1) 新エンジン搭載

コモンレール式水冷4気筒ディーゼルインタークーラターボエンジンを搭載。

過酷な条件下でも、余裕の作業が可能な101馬力(5条刈)と115馬力(6条刈)のエンジンを搭載しています。

また、コモンレール式超高压燃料噴射システムとクールドEGR(排気ガス再循環)システム、DPF(ディーゼル微粒子捕集フィルター)に加え尿素SCR(選択式触媒還元)システムを搭載しており、環境に優しいエンジンです。

2) 高精度・高能率

①湿田適応性向上

車体水平制御用シリンダのストローク量を50mm拡大させることにより車高位置を高くしました。さらにクローラの接地長を90mm延長し、湿田走破性を向上しています。

②脱こく性能向上

3つの胴を持つスーパーツイーンエイトスレッシャー脱こく部を搭載しました。作物に優しい大径ロングこぎ胴と、2番還元物を専門に処理する2番処理胴、こぎ胴からの排塵を処理、拡散、排出する排塵処理胴の3つから構成される高精度脱こく部です。

また、車速に同調して、フィードチェンが無段階に変速するフィードチェンシンクロを搭載しました。作業速度に関係なく、常に安定した姿勢で脱こく部へ搬送できますので、高い脱こく性能を発揮できます。

③操作性向上

メーターパネルはカラー液晶モニタを採用したことで見やすく、座席はグラマー社製シートを採用し長時間作業でも快適な作業が行えます。新たにカッタ部の拡散板を操作席から切り換えできるスイッチを設けました。枕刈や中割作業時など切りワラの拡散幅を機体から降りることなく切換できます。

3) 高耐久設計

走行部には、オイルバス式のトラックローラ、アイドルローラを採用し、メンテナンス性の向上を図りました。負荷のかかるパーツは、材質や加工にこだわり、耐磨耗性と防錆性を高めることで、過酷な条件、長いシーズンの稼働に対応しました。

例：高耐久こぎ歯、高耐久切刃、ステンレス受け網、ステンレス揺動棚、セラミック回転刃カッタなど

4) 安全・安心装備

後方視界を確保するため、リヤカメラは広角レンズを採用し安心して後進できるようになりました。また、手こぎ作業時はフィードチェンが低速で駆動する手こぎ安全装置と、万が一の時には、押すとエンジン停止すると共にフィードチェンが瞬時に止まり、こぎ胴カバーが半開放する緊急エンジン停止スイッチを設けております。

5) 先端技術

アグリサポートを全型式標準対応し、ISEKIリモートと収量センサ付コンバインを型式設定しました。

4. 主要諸元

添付カタログをご参照願います。

5. 発売時期

2018年 7月

6. 販売目標台数

年間200台

7. 希望小売価格 (消費税込)

HJ5101 13,802,400円 ~ 16,005,600円

HJ6115 14,882,400円 ~ 17,085,600円



HJ6115GZCAPLW

PRESS RELEASE

さらなるパフォーマンスを追求した
フラッグシップコンバイン「ジャパン」が新たに登場。

キセキコンバイン HJシリーズ

当社はこのたび、コンバインのフラッグシップモデルである、「ジャパン」HJシリーズのモデルチェンジを行い、「高精度」「高能率」「高耐久」のコンセプトはそのままに、業界最大出力を誇るコンバイン“Monster Japan (モンスタージャパン)”HJシリーズを投入します。

1. 開発のねらい

コンバイン「ジャパン」シリーズは大規模稲作農家、営農集団や農業法人の皆様にも、その名の通り日本を代表する高能率多条刈コンバインとして、多くご愛用いただいております。

今回、特殊自動車排出ガス4次規制に対応すると共に馬力アップを図り、フラッグシップモデルのコンバインに相応しい「高精度」「高能率」「高耐久」で大規模農家のプロユーザーを魅了する新HJシリーズを投入します。

2. 発売型式

「ジャパン」 HJ 6 1 3 0 (6条刈 130馬力)
HJ 7 1 3 0 (7条刈 130馬力)

3. 主な仕様

特殊自動車排出ガス4次規制対応のコモンレール式水冷4気筒ディーゼルインタークーラターボエンジンを搭載しています。

4. 今後の展開

2018年12月の商品化を予定しております。

5. 発売予定時期

2018年12月



H J 6 1 3 0 G Z C A P L W

PRESS RELEASE

**拡大する野菜作市場の地域ニーズを応援！
キャベツ、たまねぎに対応した全自動野菜移植機が
「ノウエルエース」PVZ1シリーズに登場。**

キセキ全自動野菜移植機 PVZ1-60ADR

当社はこのたび、全自動野菜移植機「ノウエルエース」PVZ1にさらなる市場の要望に対応するキャベツ・たまねぎ兼用機を追加し新発売します。

1. 開発のねらい

東海地区のキャベツ産地では、夏の収穫作物としてたまねぎ栽培を取り入れる動きがあります。今回、高能率で使いやすい全自動野菜移植機「ノウエルエース」PVZ1シリーズに、たまねぎ移植に対応した機能を追加したキャベツ・たまねぎ兼用機を市場に投入します。

2. 発売型式

「ノウエルエース」 PVZ1-60ADR

3. 主な特長

1) 業界初となるキャベツ・たまねぎ兼用機

- ①たまねぎ苗にはセルトレイ200穴を使用し、株間は植付速1の場合、1cm刻みで10～35cmに調整可能です。うね幅60cmの1うね1条体系に適応できます。
- ②キャベツ苗や葉物作物苗には、セルトレイ128穴または200穴を使用し、株間は植付速2の場合、1cm刻みで20～75cmに調整可能です。

2) 基本性能、機能

- ①作業速0.41m/sでの植付け作業を実現し、作付面積の拡大に貢献します。
(たまねぎ移植作業時は植付速0.21m/s)
- ②横開きホoppaを採用しているため苗適応性が向上しました。また、植付けホoppaによって開けられた穴は、鎮圧輪でしっかり鎮圧されますので、きれいな植付けが行えます。
- ③ワンタッチトレイ切替を採用しています。機体右側にあるレバーを180度回転させるだけで、簡単に128穴トレイと200穴トレイの切替ができます。

4. 主要諸元

添付チラシをご参照願います。

5. 発売時期

2018年10月

6. 販売目標台数

年間30台

7. 希望小売価格（消費税込）

PVZ1-60ADR 1,436,400円



PVZ1-60ADR

PRESS RELEASE

たまねぎ機械化一貫体系の充実化！

たまねぎ収穫機 VHU20-WG

当社はこのたび、たまねぎの機械化一貫体系のさらなる充実化を図るため、たまねぎ収穫機VHU20-Gにワイド仕様を追加し、新発売します。

1. 開発のねらい

近年、たまねぎは、流通量が多く安定した需要が見込める点、水稲と作業時期がかぶらない点で稲作農家の中で水田の裏作として取り入れられる傾向があります。

このたび、水田裏作に対応した、湿田性能を向上し幅広いうね形状に適應できるたまねぎ収穫機VHU20-WGを追加し、市場に投入します。

2. 発売型式

VHU20-WG

3. 主な特長

1) 水田裏作での適應性向上

① 広幅タイヤを採用

駆動輪（後輪）とゲージ輪（前輪）に幅広タイヤを採用しました。

後輪が直径650×幅142mmに、また、前輪が直径410×幅111mmとなり、軟弱ほ場でも安定した作業性能を発揮します。また、防除機などのタイヤ跡がある場合にも、はまり込み防止に効果があるので安定した作業が行えます。

② タイヤトレッド幅の延長

タイヤのトレッド幅を135mm延長しているため、うね幅の広い体系に適應できます。

2) たまねぎを楽にきれいに収穫

① 機械収穫で省力・効率作業

掘取り、搬送、葉切、整列が一工程で行えますので、作業者の負担が少なく、効率の良い作業ができます。

② たまねぎを傷付けずに収穫

掘取刃で浮かし掘取り後に2本のスポンジベルトでやさしく引き抜くため、表面を傷つけることなく収穫できます。

③様々な貯蔵形態に対応できる葉切りカッタ

葉切高さを4～20cm（マルチ作業機では8、10cmの2段階）に調節でき、青切出荷、コンテナ貯蔵、結束吊り下げ貯蔵など、様々な貯蔵形態に対応した収穫が行えます。

④整列放出

1うね4条植えを2条ずつ往復で収穫します。掘り取ったたまねぎは1列にきれいに並べていくため、後工程の作業がスムーズです。

3) 使いやすい機能が満載

①軽トラックに載せて移動も楽なズームトレッド

レバー操作で車輪幅が変わる、ズームトレッドを採用しています。入り口の狭いほ場への出入りや、軽トラックへの積込時に便利です。

②かき込みベルト付デバイダで、倒れた葉も拾い上げ

左側のかき込みベルト付きデバイダにより、葉がうね肩に倒れた場合でも確実にかき込み、拾い上げるので葉の切り残しや掘取りミスを低減できます。

4. 主要諸元

添付チラシをご参照願います。

5. 発売時期

2018年 6月

6. 販売目標台数

年間10台

7. 希望小売価格（消費税込）

VHU20-WG 1,555,200円

PRESS RELEASE

たまねぎ機械化一貫体系の充実化！

たまねぎピッカー VHP101T

当社はこのたび、たまねぎの機械化一貫体系のさらなる充実化を図るため、たまねぎピッカーVHPのモデルチェンジと鉄コンテナ仕様を新発売します。

1. 開発のねらい

近年たまねぎは、流通量が多く安定した需要が見込める点、また水稲と作業時期がかぶらない点で、水稲農家の中で水田の裏作として取り入れられる傾向が強まっています。

今回、作業の効率化に貢献するたまねぎピッカーVHPシリーズのモデルチェンジと、作業の省力化が行える鉄コンテナ仕様機を投入します。

2. 発売型式

VHP101T（ミニコンテナ仕様）

VHP101T-LC（鉄コンテナ仕様）

3. 主な特長

1) 高能率作業

従来機に比べ作業速度が約3割向上しているので、たまねぎの拾い上げ作業を大幅に効率化できます。（作業速はVHP101が0.20m/s、従来機VHP100が0.15m/s）

2) 省力作業

VHP101T-LC（鉄コンテナ仕様）は、運搬車やトラクタ用リヤリフトを伴走し、拾い上げたたまねぎをリフトコンベアで鉄コンテナへ収納できます。満量になったらほ場外へ機械で搬出できるので、人手を削減することができます。

3) 重労働な拾い上げ作業の機械化

①優しい拾い上げ

独自のかき込み羽根で、たまねぎを優しく拾い上げます。

②きれいに搬送

スリットコンベアで確実にたまねぎを搬送します。搬送部が振動し、隙間を設けることで付着している土を落とします。

③ミニコンテナ収容 (VHP101T)

拾い上げられたたまねぎは、傷がつかないようにスポンジシュータで集められた後に、ミニコンテナに収容されます。空コンテナは45個積載することができますので、100mのほ場でも連続作業が行えます。

④ミニコンテナ排出

満杯になったミニコンテナは、1つつまたは2つつ排出できます。排出は機械を停止することなく、連続して行うことができます。

4. 主要諸元

添付チラシをご参照願います。

5. 発売時期

平成30年 6月

6. 販売目標台数

年間40台

7. 希望小売価格 (消費税込)

VHP101T 1,382,400円

VHP101T-LC 2,192,400円



VHP101T-LC

PRESS RELEASE

農業用 I C T
M 2 M 技術を活かしたサービスを提供。

I S E K I リモート

当社はこのたび、農業者および井関農機が農業 I C T を活用できる環境を提供するため、M 2 M の技術を活用した機械情報を管理するサービスを提供いたします。

1. 開発のねらい

農業構造の変化が進み、農業従事者の減少や、農地の担い手への集約にともなう法人経営体の増加が進んでおります。

今回、大規模農家を支援するため、データの可視化により機械情報を管理する、M 2 M 技術を活かしたサービスとして「I S E K I リモート」を展開します。

2. 発売型式

「I S E K I リモート」

3. 主な特長

1) 機械情報の管理

機械に搭載した G P S アンテナと通信端末で、機械の「位置情報」や「稼働情報」を取得し、事務所などの機械から離れた場所でもインターネットを通じて機械情報を確認することができます。また、お客様自身でデータを蓄積しグラフ化することで様々な視点から分析することができます。作業工程の見直しや作業の効率化、燃料費の低減へつながります。

2) 盗難抑止機能

お客様が機械ごとの稼働予定範囲や稼働予定時間を設定することで、設定範囲を超えた機械の稼働を検出した場合、事前に設定したメールアドレスへ盗難検知の通知を行います。

4. 発売時期

2 0 1 8 年 7 月